

令和6年4月12日発行

目黒区ウェブサイト
(区立中学校の統合)



第3号

第七中学校・第九中学校の統合

目黒南中学校開設準備NEWS

編集・発行

目黒区教育委員会学校統合推進課

目黒区上目黒2-19-15 ☎5722-9301 FAX 5722-9332

メール kyoiku11@city.meguro.tokyo.jp

校歌制作ワークショップを実施しました

校歌の制作については、区内にキャンパスを構える東京音楽大学と連携し、第七中学校と第九中学校の生徒を対象とした「校歌制作ワークショップ(全3回)」を通じた生徒参加による取組を行っています。

ワークショップの講師、そして校歌の作詞・作曲はアーティストの中西圭三さんが務めました。校歌の作詞者名には、中西さんのお名前とともに、「協力 第七中学校・第九中学校生徒有志」と入る予定となっています。



校歌制作ワークショップの様子

ワークショップは、事前に応募があった両校の1年生(新校開校時に中学3年生)が参加しました。事前に行ったアンケート等をもとに、参加者一人一人が中西さんと意見交換を行いながら、校歌のイメージを膨らませていきました。

目黒南中学校の校歌の完成に向けて、取組を進めていきます。

校歌制作ワークショップの様子は、区ウェブサイト(右コード)でご覧いただけます。



スクールカラーを「紫」に決定しました

生徒・児童投票の結果、目黒南中学校のスクールカラーを「紫」に決定しました。スクールカラーの決定に伴い、今号から「目黒南中学校開設準備NEWS」のテーマカラーも「紫」としています。

スクールカラーは、**中学校連合体育大会の旗やゼッケン、ハチマキ**等に使用するほか、**新校舎の内装**等に使用する予定です。

「紫」の主な投票理由

- 第七中学校(桃色)と第九中学校(水色)のスクールカラーの中間色だから。
- 両校の生徒が仲良く混ざり合うように、スクールカラーも混ぜると良いと思ったから。
- 区の紋章の色が「江戸紫」で、目黒区は紫のイメージがあるから。



校章図案を決定しました

校章は、両校の生徒からデザインを募集しました。また、デザイン募集にあわせて、区内在住のデザイナーである合田祥之さんを講師にお招きし、校章をデザインする際のポイント等について学ぶ、「校章デザイン教室」を実施しました。

応募されたデザインについて、生徒・児童投票を実施し、以下のデザインを目黒南中学校の校章図案に決定しました。今後、採用された生徒の意見を聞きながら、デザイナーにより、校章として完成させる予定です。



校章デザイン教室の様子



デザインの説明

- 周りの花は、目黒区のシンボルであるハギである。ハギには、主に4種類の色があり、七中や九中もそれぞれ2つの小学校から来て、合わせると4種類になる。ハギは、1つ1つの花は小さいが、ハギ同士が集まるととても美しいように、両校が関わりを大切に、1人1人を大事にしてほしいという願いを込めた。
- さらに、ハギの中には冬に枯れてしまっても、春には花を咲くというハギがあり、生徒が社会で生きる力を育み、いつか社会で立派な人間になってほしいという願いを込めた。
- 南の文字色は、両校のスクールカラーを合わせた紫にした。



標準服の基本的なデザインを決定しました

標準服の検討については、両校の生徒が主体となった「標準服検討委員会」において、ジャケット素材の決定、ボトムス・ネクタイ・リボンのコーディネートなど、生徒参加による検討を実施しました。

その後、生徒が検討したコーディネートを候補とした生徒・児童投票を行い、目黒南中学校の標準服の基本的なデザインを決定しました(右のデザイン)。今後、このデザインをもとに、最終的な調整をしていきます。

なお、標準服のエンブレムについては、応募された校章図案や両校の校章のモチーフをもとに、事業者が作成したデザインを候補とした生徒・児童投票により決定しました。

体育着についても同様に、生徒・児童投票により決定していく予定です。取組状況は、随時お知らせしていきます。



ネクタイ・リボン



ボトム柄



エンブレムデザイン
(今後調整することがあります)

第七中学校の校章の白梅と、第九中学校の校章からイメージするヒマワリをモチーフとしたデザインとなっています。



第七中学校
校章



第九中学校
校章

校章や標準服の取組状況は、区ウェブサイト(右コード)からご覧いただけます。

